

令和8年1月14日

ソラマメ生産者 各位

J A山武郡市 営農部

強風に伴うソラマメの今後の管理について

先日の強風により、ソラマメ圃場でマルチがはがされたり、莖葉が黒く変色するなどの被害が発生しています。

今後、生育遅延や病害の発生につながらないように、薬剤や葉面散布剤を散布しましょう。また、昨年多発した黄化症状は、生育期の乾燥や春先の豪雨が原因のひとつと考えられています。水源が確保できる圃場では通路灌水も検討しつつ、降雨の後は圃場が滞水しないような管理を行いましょう。

【今後の管理ポイント】

- 生育適温（15～20℃）の維持（トンネル内部の高温に注意）
- 追肥時期 ①低節位で花蕾確認時、②開花最盛期、③小指大の鞘ができたころ

※窒素成分で2～3 kg/10a

- 病害虫対策 下表参照、※特にトンネル内でのアブラムシ多発に注意

対象病害虫名	薬剤名	希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	総使用回数
赤色斑点病	ロブール水和剤	1000倍	前日まで	3回
さび病	アミスター20フロアブル	2000倍	3日前まで	3回
斑点細菌病	Zボルドー	500倍	発病前～ 発病初期	—
アブラムシ類	スミチオン乳剤	1000倍	3日前まで	3回
	モスピラン顆粒水溶剤	4000倍	7日前まで	3回
樹勢維持 (葉面散布剤)	メリット(青)	300～500倍を3～5日おきに3回以上		

※「令和8年産ソラマメ防除日誌」を参考にしてください。